

令和2年度

香芝市一般会計予算の概要

香芝市 総務部 財務局 財政課

予算案の概要

一般会計予算の概要

本市の財政状況は、平成30年度決算に基づく健全化判断比率について、実質公債費比率で16.9%、将来負担比率で101.8%であり、健全化に向け着実に改善しています。しかし、依然として全国平均よりも高い数値で推移していることから、更なる改善に向けた取り組みを継続する必要があります。

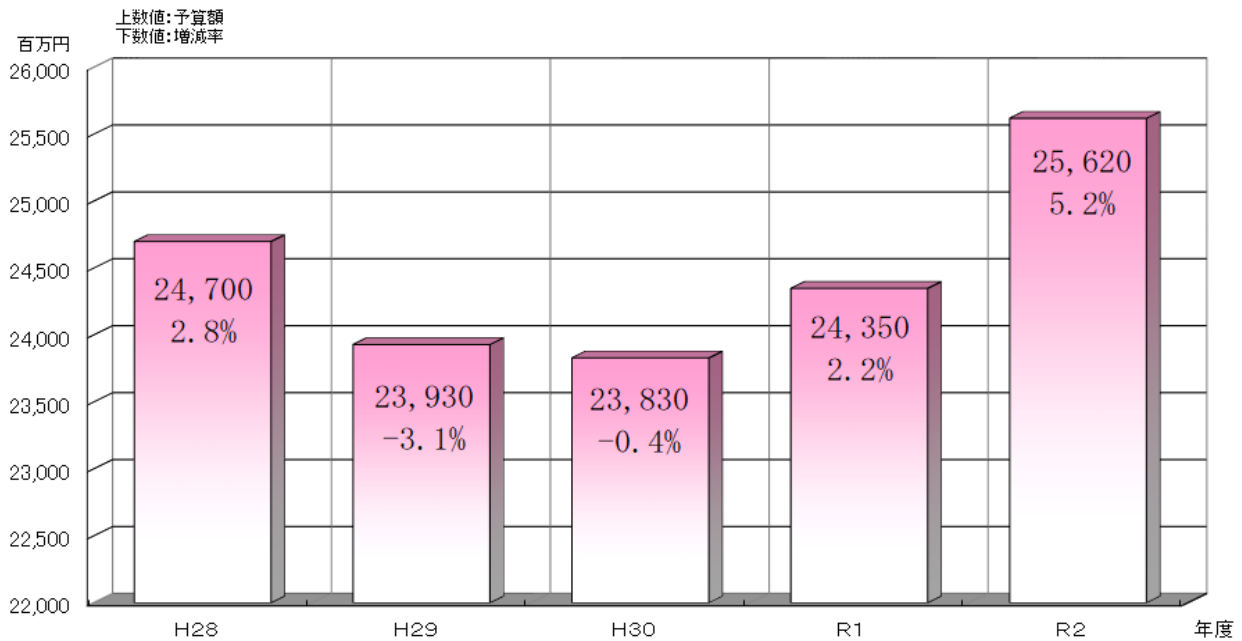
また、今後においても少子高齢化、働き方改革を背景とした子育て環境の充実や高齢人口の増加に伴う社会保障関係経費の増大、会計年度任用職員制度の施行、ごみ処理施設の建替え、老朽化の進む公共施設等の大規模な改修や維持管理への対応など、多額の財政需要が見込まれます。

そこで、令和2年度予算については、令和2年度は市長改選の年となり、義務的経費や国等の補助事業など前年度より継続して実施する事業を考慮した骨格予算としながらも、第4次香芝市総合計画後期基本計画の実現に向けた取組を着実に実施するとともに、未来志向で持続可能なまちづくりに向け、新たな課題にも対応しながら市民サービスの向上を第一優先に掲げ、予算を編成いたしました。

一般会計の概要

令和2年度一般会計の予算規模は256億2,000万円で、前年度と比較して12億7,000万円の増（5.2%増）となりました。

【一般会計予算規模の推移】



注：グラフの数値については、当初予算額です。

歳入

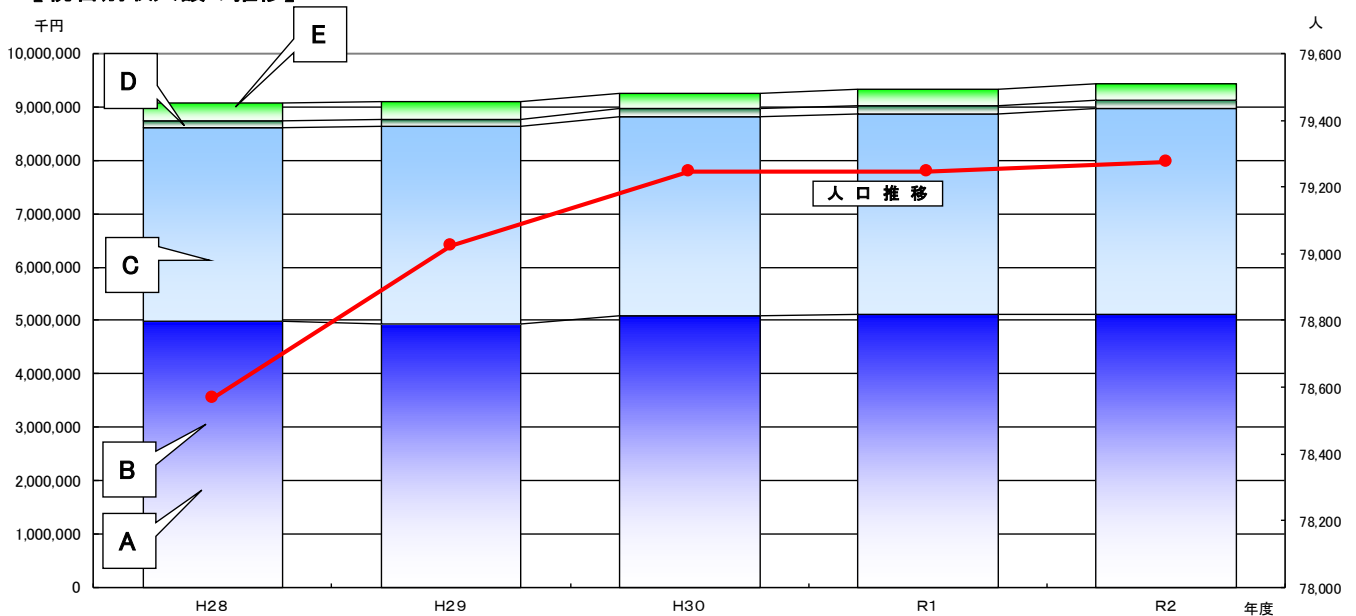
- ① 市税収入については、前年度と比較して9,830万円の増(1.1%増)の9億4,319万円を見込んでいます。個人市民税では3,700万円の増(0.8%増)、固定資産税では8,760万円の増(2.3%増)、軽自動車税では970万円の増(6.1%増)を見込んでいます。

〔市税収入見込額〕

(単位:千円:%)

	令和2年度 当初収入見込額 A	令和元年度 当初収入見込額 A	差引 A-B	増減率 (A-B)/B
市 民 税	5,115,600	5,114,600	1,000	0.0
個人市民税	4,782,600	4,745,600	37,000	0.8
法人市民税	333,000	369,000	△36,000	△9.8
固 定 資 産 税	3,848,060	3,760,460	87,600	2.3
軽 自 動 車 税	168,300	158,600	9,700	6.1
た ば こ 税	300,000	300,000	0	0.0
合 計	9,431,960	9,333,660	98,300	1.1

【税目別収入額の推移】



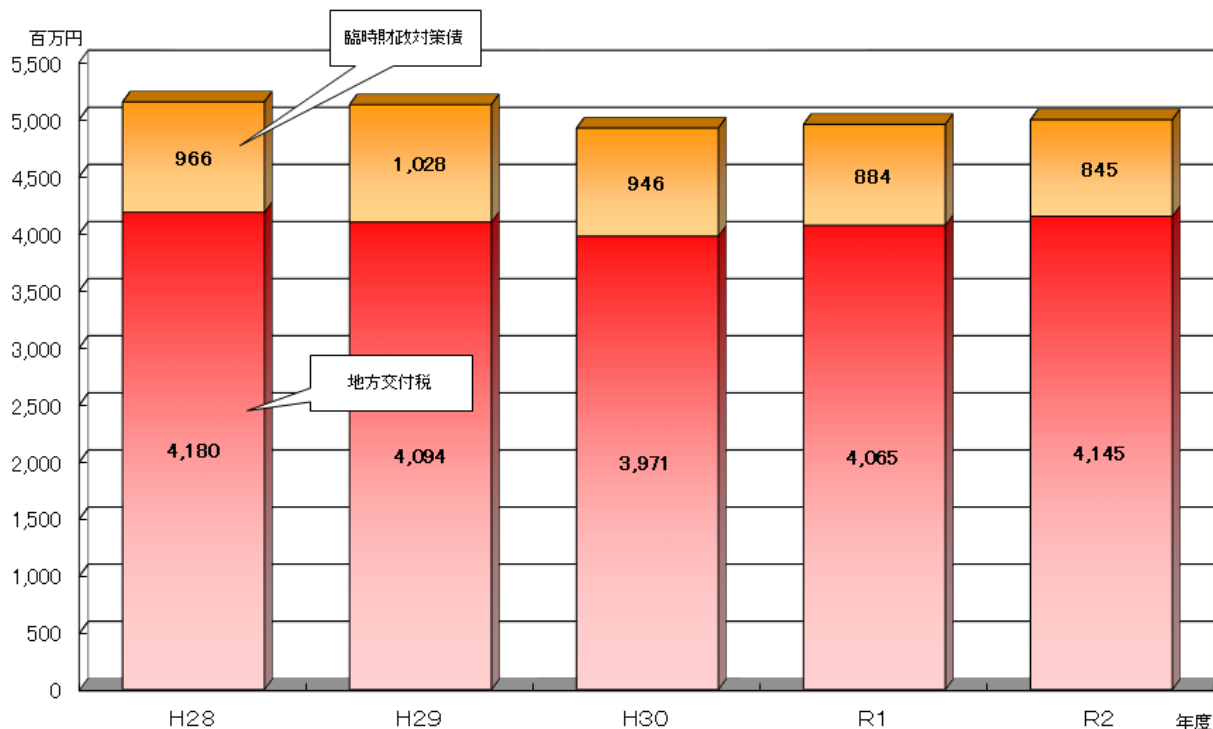
(単位:千円)

区 分	H28	H29	H30	R1	R2
市 町 村 民 税	4,990,600	4,929,100	5,097,200	5,114,600	5,115,600
うち個人(A)	4,626,300	4,601,600	4,721,600	4,745,600	4,782,600
うち法人(B)	364,300	327,500	375,600	369,000	333,000
固 定 資 産 税 (C)	3,620,762	3,705,562	3,713,962	3,760,460	3,848,060
軽 自 動 車 税 (D)	134,100	136,400	152,300	158,600	168,300
市 町 村 た ば こ 税 (E)	330,000	335,000	300,000	300,000	300,000
市 税 合 計	9,075,462	9,106,062	9,263,462	9,333,660	9,431,960
年 度	H28	H29	H30	R1	R2
人 口	78,566	79,023	79,246	79,245	79,274

※前年度3月31日時点人口

- ② 地方交付税については、令和元年度の交付実績と地方財政計画においての交付税総額の増（2.5%増）を踏まえつつ、前年度より8,000万円の増（2.0%増）となる41億4,500万円を計上しています。

【広義の地方交付税】



- ③ 国・県支出金については、60億484万円となり、前年度と比較して3億4,240万円の増（6.0%増）となっています。これは、障害福祉に係る扶助費の増に伴う社会福祉費負担金や施設型給付費などの増に伴う児童福祉費補助金、幼稚園補助金の増額によるものです。

- ④ 市債については、26億2,300万円を計上しており、前年度と比較して8億350万円の増（44.2%増）となっています。これは、体育施設整備事業債や総合福祉センター整備事業債などの増額によるものです。

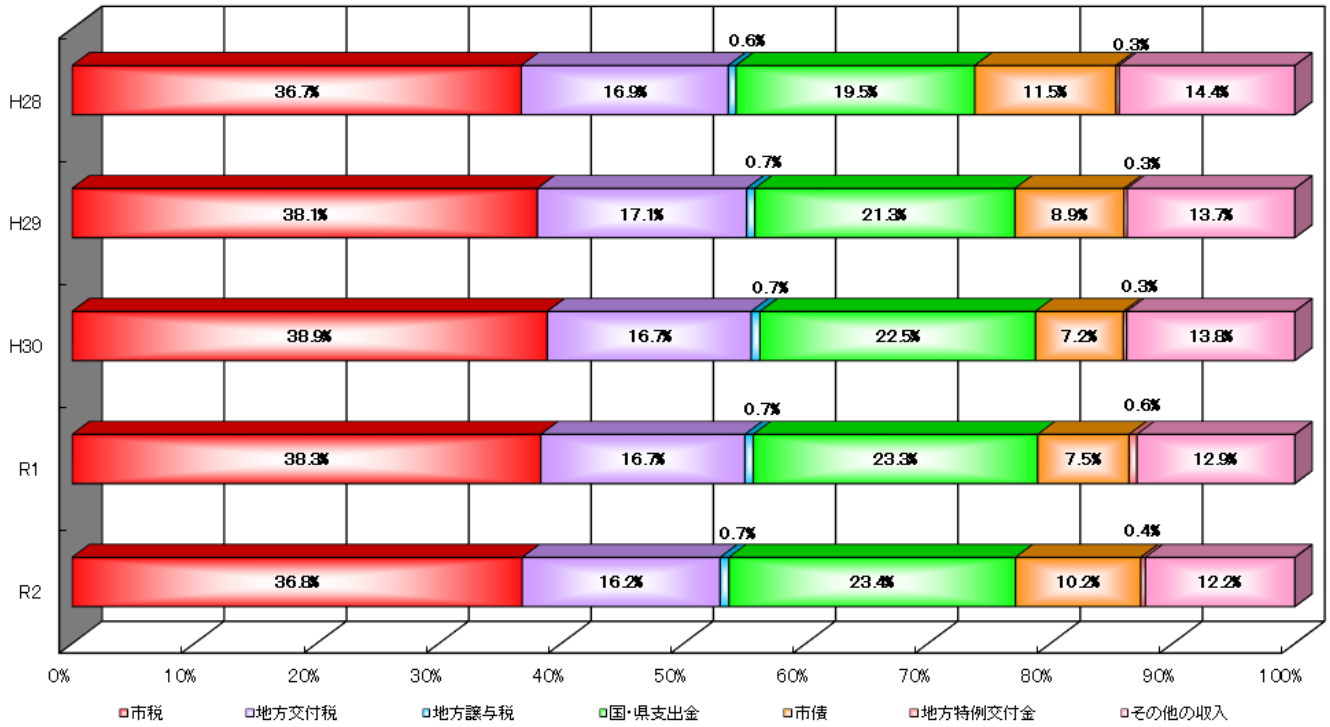
【一般会計歳入の内訳】

(単位:千円:%)

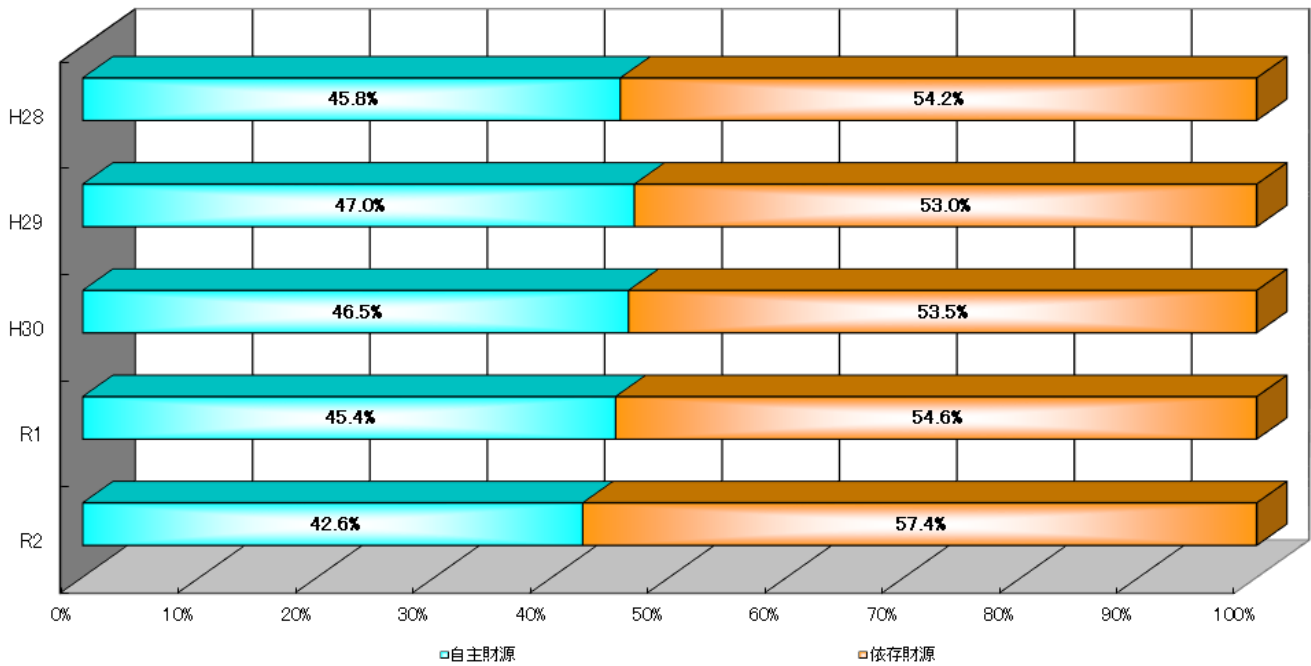
	令和2年度	令和元年度	比較		令和2年度
			増減	増減率(%)	構成比
市 税	9,431,960	9,333,660	98,300	1.1	36.8
地 方 交 付 税	4,145,000	4,065,000	80,000	2.0	16.2
地 方 譲 与 税	185,538	168,112	17,426	10.4	0.7
国・県支出金	6,004,844	5,662,444	342,400	6.0	23.4
市 債	2,623,000	1,819,500	803,500	44.2	10.2
うち臨時財政対策債	845,000	884,000	△ 39,000	△ 4.4	3.3
地方特例交付金	98,000	157,500	△ 59,500	△ 37.8	0.4
その他の収入	3,131,658	3,143,784	△ 12,126	△ 0.4	12.2
合 計	25,620,000	24,350,000	1,270,000	5.2	100.0

各項目で四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります。

【一般会計歳入構造の推移】



【歳入財源内訳の推移】



歳出

- ① 人件費、扶助費、公債費の義務的経費については、134億3,461万円と
なっており、前年度と比較して3億5,017万円の増（2.7%増）を計上して
います。
扶助費については障害福祉費の増などにより6.0%の増となっています。
一方、公債費については市債の発行抑制及び過去に発行した起債が順次償還を迎
えたことにより、2.7%の減となっています。
- ② 物件費、維持補修費の消費的経費については、事務用OA機器更新事業などの減
により38億9,207万円となっており、前年度と比較して2億2,228万円
の減（5.4%減）となっています。
- ③ 投資的経費については、総合体育館整備事業や総合福祉センター中規模修繕事業
の増加により26億8,876万円となり、前年度と比較して、7億4,143万
円の増（38.1%増）となっています。

【一般会計予算経費別総括表】

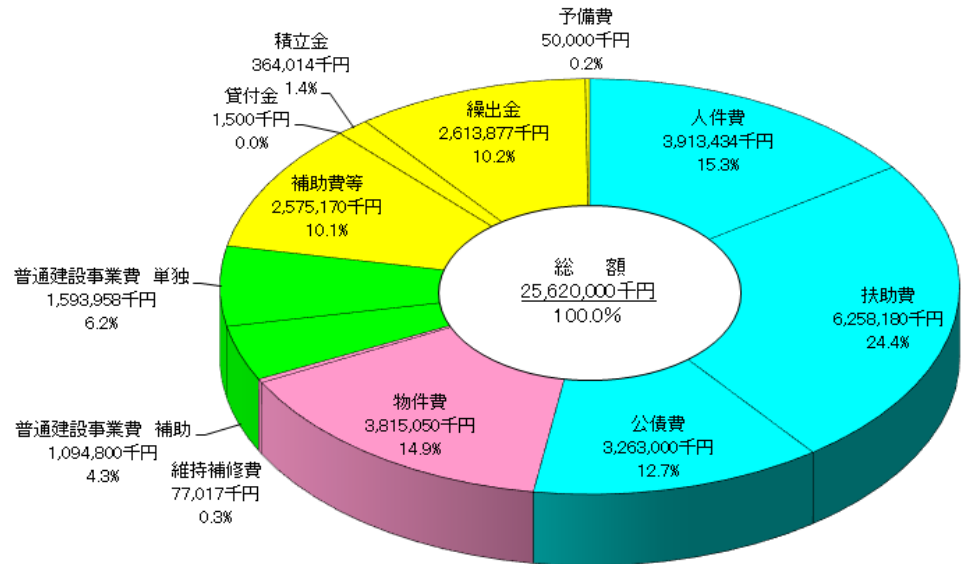
（単位：千円：％）

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	増減率	令和2年度構成比
義務的経費 計	13,434,614	13,084,440	350,174	2.7	52.4
人 件 費	3,913,434	3,825,580	87,854	2.3	15.3
扶 助 費	6,258,180	5,904,860	353,320	6.0	24.4
公 債 費	3,263,000	3,354,000	△ 91,000	△ 2.7	12.7
消費的経費 計	3,892,067	4,114,349	△ 222,282	△ 5.4	15.2
物 件 費	3,815,050	4,040,219	△ 225,169	△ 5.6	14.9
維持補修費	77,017	74,130	2,887	3.9	0.3
投資的経費 普通建設事業費	2,688,758	1,947,325	741,433	38.1	10.5
補 助	1,094,800	1,216,900	△ 122,100	△ 10.0	4.3
単 独	1,593,958	730,425	863,533	118.2	6.2
その他の経費 計	5,604,561	5,203,886	400,675	7.7	21.9
補 助 費 等	2,575,170	2,408,118	167,052	6.9	10.1
投資及び出資金	0	0	0	—	0.0
貸 付 金	1,500	1,500	0	0.0	0.0
積 立 金	364,014	256,249	107,765	42.1	1.4
繰 出 金	2,613,877	2,488,019	125,858	5.1	10.2
予 備 費	50,000	50,000	0	0.0	0.2
合 計	25,620,000	24,350,000	1,270,000	5.2	100.0

各項目で四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります。

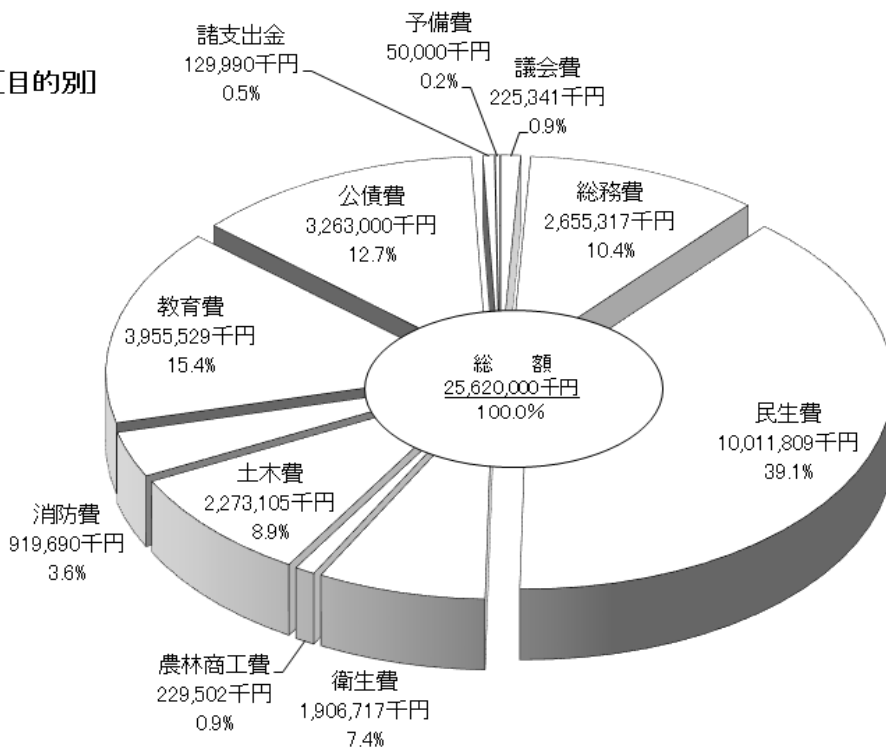
【令和2年度予算歳出構成比】

【性質別】



- 義務的経費(人件費+扶助費+公債費)
- 消費的経費(物件費+維持補修費)
- 投資的経費(普通建設事業費 補助+単独)
- その他の経費(補助費等+出資及び投資金+貸付金+積立金+繰出金+予備費)

【目的別】



【令和2年度一般会計予算を市民一人当たりの予算に置き換えると・・・】

市民一人当たりの予算

323,183 円

1世帯当たりの予算 **810,683** 円
 市の人口: 79,274 人
 市の世帯: 31,603 世帯
 (令和2年3月31日現在)

<p>【民生費】 高齢者、児童の福祉などに 126,294 円 39.1 %</p> <p>【公債費】 借入金の返済に 41,161 円 12.7 %</p> <p>【教育費】 学校、図書館の運営などに 33,496 円 10.4 %</p> <p>【総務費】 文化振興、情報化などに 49,897 円 15.4 %</p> <p>【土木費】 道路、河川の整備などに 28,674 円 8.9 %</p>	<p>【衛生費】 ごみ処理、病気予防などに 24,052 円 7.4 %</p> <p>【消防費】 消防活動や防災のために 11,601 円 3.6 %</p> <p>【議会費】 市議会を運営するために 2,843 円 0.9 %</p> <p>【農林商工費】 農業の振興などに 2,895 円 0.9 %</p> <p>【その他】 諸支出金・予備費 2,270 円 0.7 %</p>
---	---

【もし香芝市が給料収入500万円の家庭だったら・・・】

収入	支出
給料 (市税) 500 万円	食費 (人件費) 201 万円
パート収入 (使用料・手数料など) 101 万円	生活費 (物件費・補助費等) 339 万円
親からの仕送り (国庫支出金・地方交付税など) 608 万円	医療費 (扶助費) 332 万円
貯金の取り崩し (繰入金) 11 万円	自宅の修理代 (維持補修費) 4 万円
借入金 (市債) 139 万円	車・土地の購入費 (普通建設事業費) 143 万円
合計 1,358 万円	子どもへの仕送り (他会計への繰出金など) 139 万円
借入金の残高 (一般会計) 1,635 万円 ※令和元年度末見込み	借入金の返済 (公債費) 173 万円
	貯金 (積立金・貸付金など) 22 万円
	合計 1,358 万円